

グリーン系湿地性カラー「熊本FC03」3年目株および4年目株の生産性

「熊本FC03」の収量は、多収性白系湿地性カラー「熊本FC01」の7割～同程度、グリーン系湿地性カラーの本県主力品種「グリーンゴッデス」の農産園芸研究所で3倍程度、高原農業研究所で2.5～7.6倍である。切り花長は、高原農業研究所で「熊本FC01」より短い。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室 (担当者: 工藤陽史、日名田祐希)

研究のねらい

収量および市場性(緑色覆輪の発色程度、花形、出荷期)に優れたグリーン系湿地性カラーとして県が育成した「熊本FC03」(農業の新しい技術 No738) 経年株の生産性を検証する。

研究の成果

農産園芸研究所(標高82m、年平均気温16.2℃※熊本県農業研究センターホームページ)硬質フィルムハウス(ハウス内月平均気温11.1～28.7℃、地表面下15cm地温15.6～23.7℃※実測値)で栽培した「熊本FC03」3年目および4年目株の草高推移と生産性は以下のとおり。

1. 草高は、100～130cmの間で推移し、3～5月に高くなる(図1)。
2. 切り花長80cm以上かつ仏炎苞のシワが少ない切り花の収量は、「熊本FC01」の8割程度、「グリーンゴッデス」の2.7～3倍程度である(図2、図3)。

高原農業研究所(標高543m、年平均気温12.9℃※熊本県農業研究センターホームページ)ビニルハウス(ハウス内月平均気温10.0～25.7℃、地表面下15cm地温15.4～20.1℃※実測値)で栽培した「熊本FC03」3年目および4年目株の草高推移と生産性は以下のとおり。

1. 草高は、53～72cmの間で推移し、冬季(11月～2月)に低くなる(図4)。
2. 収量は「熊本FC01」3年目株では7割程度、4年目株の同程度(表1)、「グリーンゴッデス」3年目株では2.5倍程度、4年目株の7.6倍程度である(データ省略)。
3. 切り花長の年間平均は、「熊本FC01」より短く(表1)、3年目株、4年目株それぞれの時点において「グリーンゴッデス」よりも長い(データ省略)。
4. 花形に影響する仏炎苞にシワが発生する割合は、「熊本FC01」より多く(表1)、「グリーンゴッデス」と同程度である(データ省略)。

成果の活用面・留意点

1. 「熊本FC03」の生産量の目安として、気温・水温等を考慮して活用する。
2. 切り花長70cm以上の確保が「熊本FC01」と同様の栽培管理では難しい地域がある。
3. 農産園芸研究所調査株は、定植日2019年6月14日、株間70cm・条間120cm、調査株3株。
4. 高原農業研究所調査株は、定植日2019年6月28日、株間80cm・条間50cm、調査株4株。

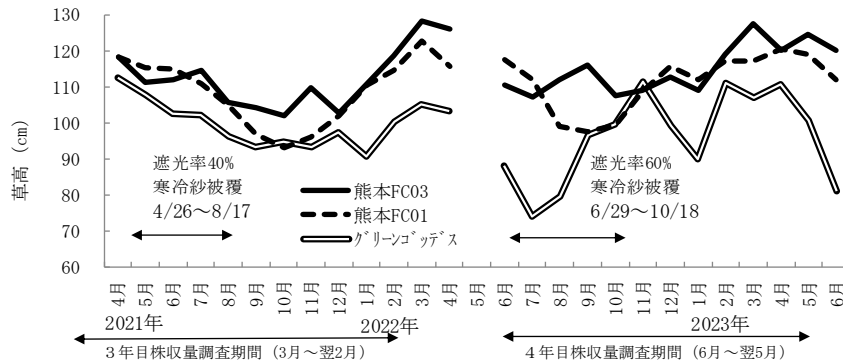


図1 農産園芸研究所3年目～4年目草高の推移
※2022年5月はデータなし

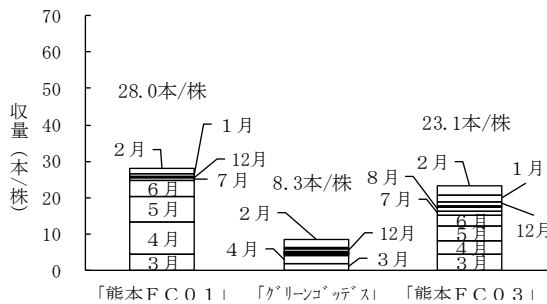


図2 農産園芸研究所3年目株3月～翌2月の切り花長80cm以上かつ仏炎苞のシワが少ない切り花月別収量 (2021年3月～2022年2月)

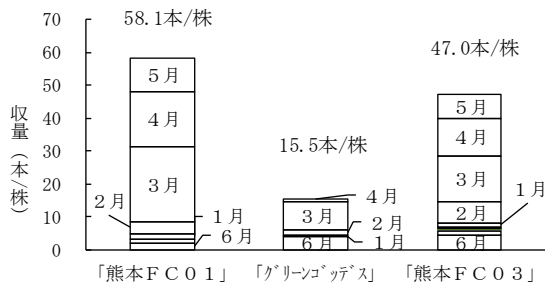


図3 農産園芸研究所4年目株6月～翌5月の切り花長80cm以上かつ仏炎苞のシワが少ない切り花月別収量 (2022年6月～2023年5月)

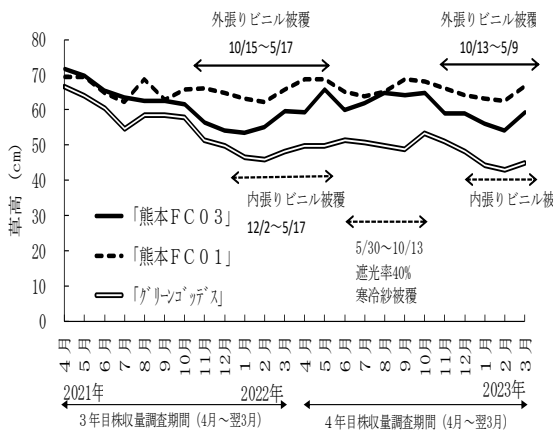


図4 高原農業研究所4年目株の草高の推移

表1 高原農業研究所3年目および4年目株の月ごとの株あたり収量および切り花品質

株年数	月	「熊本FC01」			「熊本FC03」		
		収量 (本/株)	切り花長 (cm)	シワ ² (%)	収量 (本/株)	切り花長 (cm)	シワ ² (%)
3年目	2021年 4月	7.3	80.3	3	5.0	70.8	20
	5月	4.5	73.0	0	2.0	73.9	75
	6月	1.0	60.6	25	1.0	67.1	25
	7月	0	-	-	0.0	-	-
	8月	0	-	-	0.0	-	-
	9月	1.0	65.1	0	1.0	57.7	0
	10月	2.3	59.8	11	3.3	59.2	8
	11月	5.0	72.5	5	4.8	55.1	11
	12月	5.5	67.7	9	5.3	53.5	5
	2022年 1月	9.5	67.7	0	6.8	49.6	19
	2月	7.8	74.5	5	5.5	55.2	23
	3月	14.8	81.4	3	9.5	61.0	16
合計・平均 ²		58.5	74.0	6	44.0	58.6	20
4年目	2022年 4月	7.8	86.0	0	7.5	67.1	27
	5月	6.0	78.2	14	5.3	64.8	38
	6月	1.8	61.9	0	4.0	55.4	20
	7月	0.3	63.5	0	1.5	54.6	17
	8月	0.5	77.5	0	1.8	64.8	33
	9月	0.5	70.6	0	1.3	61.3	0
	10月	3.3	75.4	8	3.5	66.9	0
	11月	5.8	68.9	5	4.3	60.6	0
	12月	3.0	73.5	8	3.3	59.2	8
	2023年 1月	5.5	74.2	5	6.8	58.2	4
	2月	5.8	77.7	2	9.3	60.9	8
	3月	13.0	78.4	0	3.8	62.0	7
合計・平均 ²		53.0	76.8	4	52.0	61.7	14

²花形に影響するシワが仏炎苞に発生していた切り花の率

(花形に影響するシワが仏炎苞に発生していた切り花本数/収量×100)

³収量は合計、切り花長は年間通して収穫した切り花の平均



図5 花形に影響する仏炎苞のシワ